



やなぎっ子

～ 行事のありがたさ ～

晩秋の候、皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

9月30日(土)の運動会は、残暑の心配がありましたが、多くの雲に助けられ、素晴らしい気温の中で実施できました。酷暑の場合、途中で教室でのエアコン休憩を考えておりましたが、その必要もなく無事に終了できたのは、各御家庭での健康管理があったからこそと感謝いたします。午前中のみの実施ではありましたが、紅白ともに勝利に向かって頑張っていました。結果は、昨年同様白組の優勝でした。来年の紅組に是非頑張してほしいと思います。

さて、10月17日(火)は、修学旅行の出発日でした。計画内容を変更したため、6時30分集合と昨年より30分早い集合でしたが、早い児童は6時頃には登校していました。楽しみにしているんだなあと思いました。昨年は雨の出発でしたが、今年は2日間ともに素晴らしい晴天でした。初日は9時頃日光江戸村に着き、11時のお昼までグループ行動でした。子どもたちは事前にパンフレットをもとにグループごとに話し合っており、自分たちが見学する所にしっかり印をつけていました。子どもたちと一緒に「忍者劇場」と「南町奉行所」の劇場を見学しました。お客さんの反応に応じた生きた演技を見て、子どもたちは何を感じたことでしょうか。演劇には、あまり興味がなかった私でも、実際に目の前で観賞することのすばらしさを改めて感じました。午後の戦場ヶ原ハイキングも晴天の中、無事に終えることができました。

2日目は、華嚴の滝を見学した後、日光東照宮を見学しました。ガイドの方から、「陽明門の逆さ柱(満つれば欠ける:完全な物をつくってしまうと良くない)」、「三猿:見ざる言わざる聞かざる(8つの場面の2の場面では幼少期には悪いことを見たり、言ったり、聞いたりしないで、良いものだけを受け入れ、素直な心のまま成長せよ)」の説明をしていただきました。現実的に子どもたちに、良いものだけを見せることは不可能な時代かもしれませんが、私たち大人ができる限り、良いものを見せたり、言ったり、聞かせてあげたりする気持ちは忘れてはいけないと感じました。これからも多くの行事でたくさんの良い思い出をつくってほしいと思います。